

16 古文2 古文の言葉とその意味

| | |
|----|--|
| 組 | |
| 番号 | |
| 氏名 | |

1

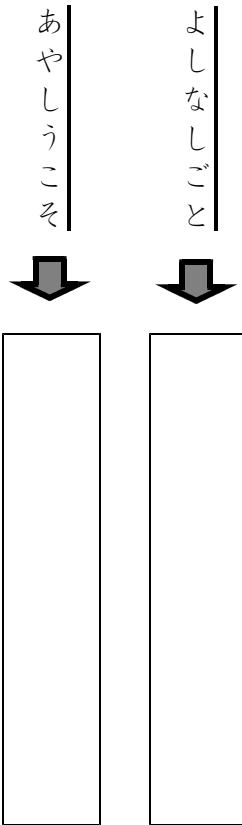
次は「徒然草」の「冒頭の部分」とその「現代語訳」です。
 部の言葉の意味を「現代語訳」の中から抜き出しなさい。

【冒頭の部分】

つれづれなるままに、日暮らし、硯すずりにおかひて、心にうつりゆくよしなしごとを、そこはかとなく書きつくれば、あやしうこそものぐるほしけれ。

【現代語訳】

何もすることがないままに、一日中、硯に向かって、心に次々と浮かんで消えていくとりとめのないことを、ただなんとなく書き付けていると、不思議と妙な感じがしてくる。



※平成21年度全国学力・学習状況調査
 県 69.8%
 全国 65.0%

2

次の①～④の古語の意味をあとのア～カの中から選び、記号で答えなさい。

- ① いと
- ② うつくし
- ③ ある
- ④ あはれ

| | |
|----------|----------------|
| ア 少し。 | イ 非常に。たいへん。 |
| ウ 座っている。 | エ かわいらしい。 |
| オ 悲しい。 | カ しみじみとした趣がある。 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| ④ | ③ | ② | ① |
| | | | |